

行政の窓

平成31年度林野庁関係当初予算等について

平成31年度林野庁予算は、平成30年12月21日付けで概算決定され、総額は、3,433億円（対前年度比114.6%）となりました。また、同日付けで、平成30年度第二次補正予算が措置されました。

《平成30年度第二次補正予算 主要事項の概要》

| 事業等名 | 対策のポイント | 政策目標 | 主な内容 |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 合板・製材・集成材 国際競争力強化対策 (39,248百万円) | 木材製品の国際競争力を強化するため、林業経営を集積・集約化する地域に対して、路網整備や高性能林業機械の導入等を支援するとともに、加工施設の大規模化・高効率化や高付加価値品目への転換、非住宅分野等における木材製品の消費拡大、クリーンウッド法の定着実態調査等を支援。 | 国産材の供給・利用量の増加 <3,000万㎡(H29) →4,000万㎡(H37)> | 1 合板・製材・集成材工場等の大規模化・高効率化をはじめ、低コスト化を図るための木材加工流通施設の整備、「再編計画」に基づく工場間連携や他品目への転換等を支援 2 原木を低コストで安定的に供給するための間伐材生産、低コストな人工造林、路網整備、高性能林業機械の導入等を支援 3 事業対象区域において幹線となる林業生産基盤整備道等の路網整備と搬出間伐等の実施 4 非住宅分野等の外構部も含めた木造化・木質化に向けてJAS格付実績の低い構造材等の普及・実証の取組、CLTの建築等の実証、木質建築部材の技術開発等に対する支援、クリーンウッド法の定着実態調査等の実施 |

《平成31年度予算 主要事項の概要》

| 事業等名 | 対策のポイント | 政策目標 | 主な内容 |
|--------------------------------|--|--|--|
| 林業成長産業化総合 対策 (24,050百万円) | 新たな森林管理システムの下で森林の経営管理を担う意欲と能力のある経営者の育成や経営の集積・集約化を進める地域への路網整備・高性能林業機械の導入、川上から川下までを結ぶサプライチェーンの構築による流通コストの削減、CLT等の利用促進など木材需要の拡大等の取組を総合的に支援。 | 国産材の供給・利用量の増加 <3,000万㎡(H29) →4,000万㎡(H37)> | 1 林業・木材産業成長産業化促進対策 (1) 持続的林業確立対策 路網整備、高性能林業機械導入、搬出間伐等の推進 (2) 木材産業等競争力強化対策 木材加工流通施設等の整備、木造公共建築物等の整備、木質バイオマス利用促進施設の整備、特用林産振興施設の整備 (3) 林業成長産業化地域創出モデル事業 森林経営管理システムを活用して先進的に取り組む地域をモデルとしてソフト支援 2 森林整備事業 幹線となる生産基盤整備道等を重点的に整備 3 川上・川下連携による成長産業化支援対策 (1) スマート林業構築推進事業 ICTの活用支援（需給マッチング等） (2) 木材生産高度技術者育成対策、現場技能者キャリアアップ・林業労働安全対策 「緑の雇用」による施業現場の管理者の育成や労働安全対策 (3) 木材産業・木造建築活性化対策 新たな需要につながる非住宅分野を中心としたJAS無垢材、CLT等の利用促進 (4) 木材需要の創出・輸出力強化対策 高付加価値製品による海外需要の開拓、CNFなどのマテリアル開発支援等 4 林業・木材産業金融対策 利子助成や債務保証、低利融資などの実施により、意欲と能力のある経営者等が行う設備投資等に対する支援を充実 |

※ 詳細については、次の林野庁ホームページをご参照ください。

平成31年度当初予算：<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/31kettei.html>

平成30年度第二次補正予算：http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/181221_7.html

(水産林務部林務局林業木材課林業木材グループ)